

The reality of HPV vaccine sufferers

被害実態報告

2015年11月23日

全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会
事務局長 池田としえ

Toshie Ikeda, The Secretary General
All Japan Coordinating Association of HPV Vaccine Sufferers



全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会

2013年3月25日設立

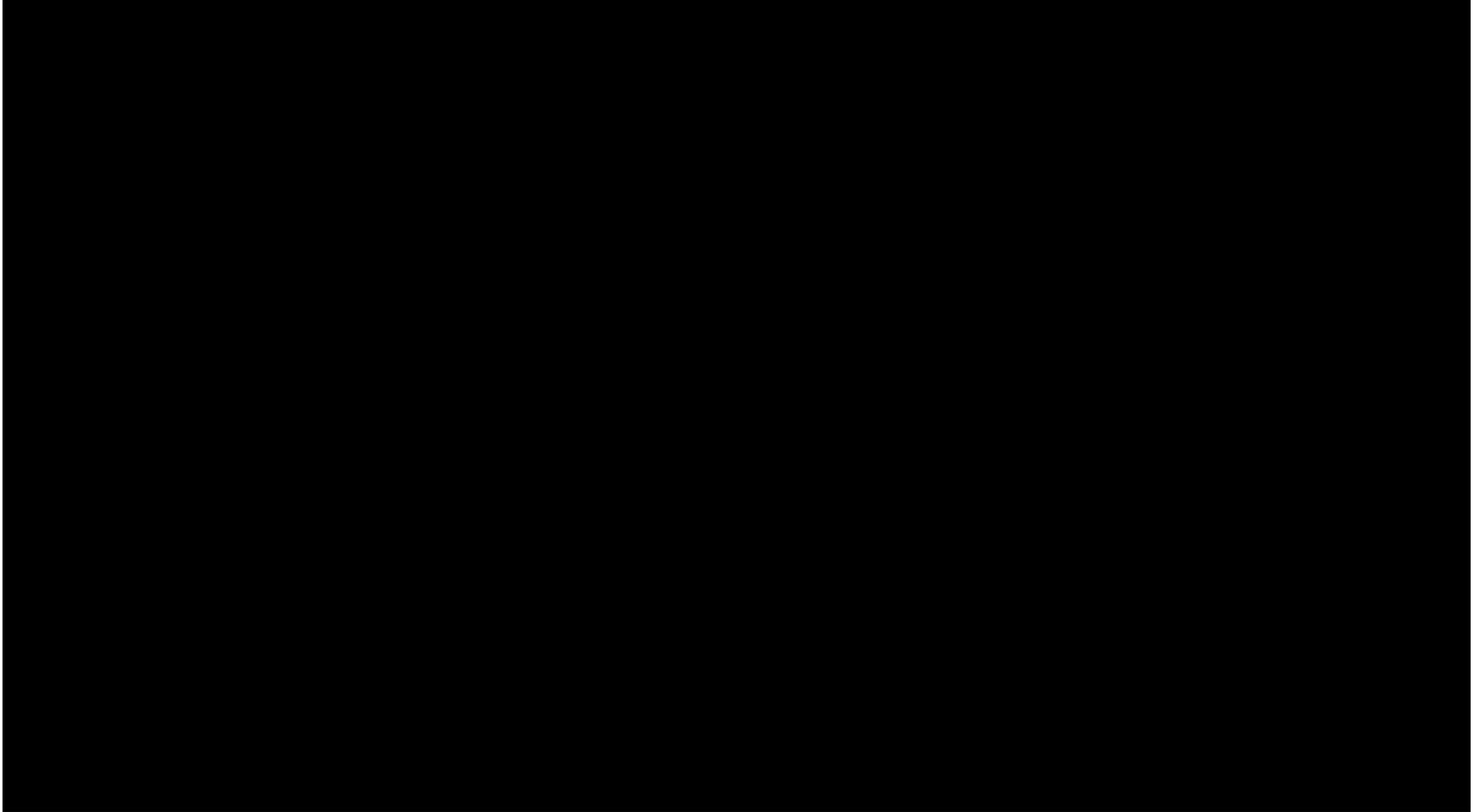
相談件数：約2100件

登録人数： 465人

※2015年11月23日現在

シンポジウム 「子宮頸がんワクチン」問題を考える

被害者映像



①東京都南多摩保健所事業概要 2010年版

＜日野市統計データ拡大版＞18万人中

表1-3 主要死因別死亡数（簡単分類）〔日野市〕P10

死因 \ 年齢	～59歳	60歳～
子宮の悪性新生物	0人	7人

参照「事業概要 平成24年版」『東京都南多摩保健所』、

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/minamitama/jigyou/24gaiyo.html>

●2013年の死亡数が多い部位は順に

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
女性	大腸	肺	胃	膵臓	乳房
男女計	肺	胃	大腸	膵臓	肝臓

2015 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター

☆若年層に、全国でもほとんど死亡者がいません 1%もないのが現状です！

②『平成21年人口動態統計』下巻（2009年）

＜全国人口動態統計データ拡大版＞

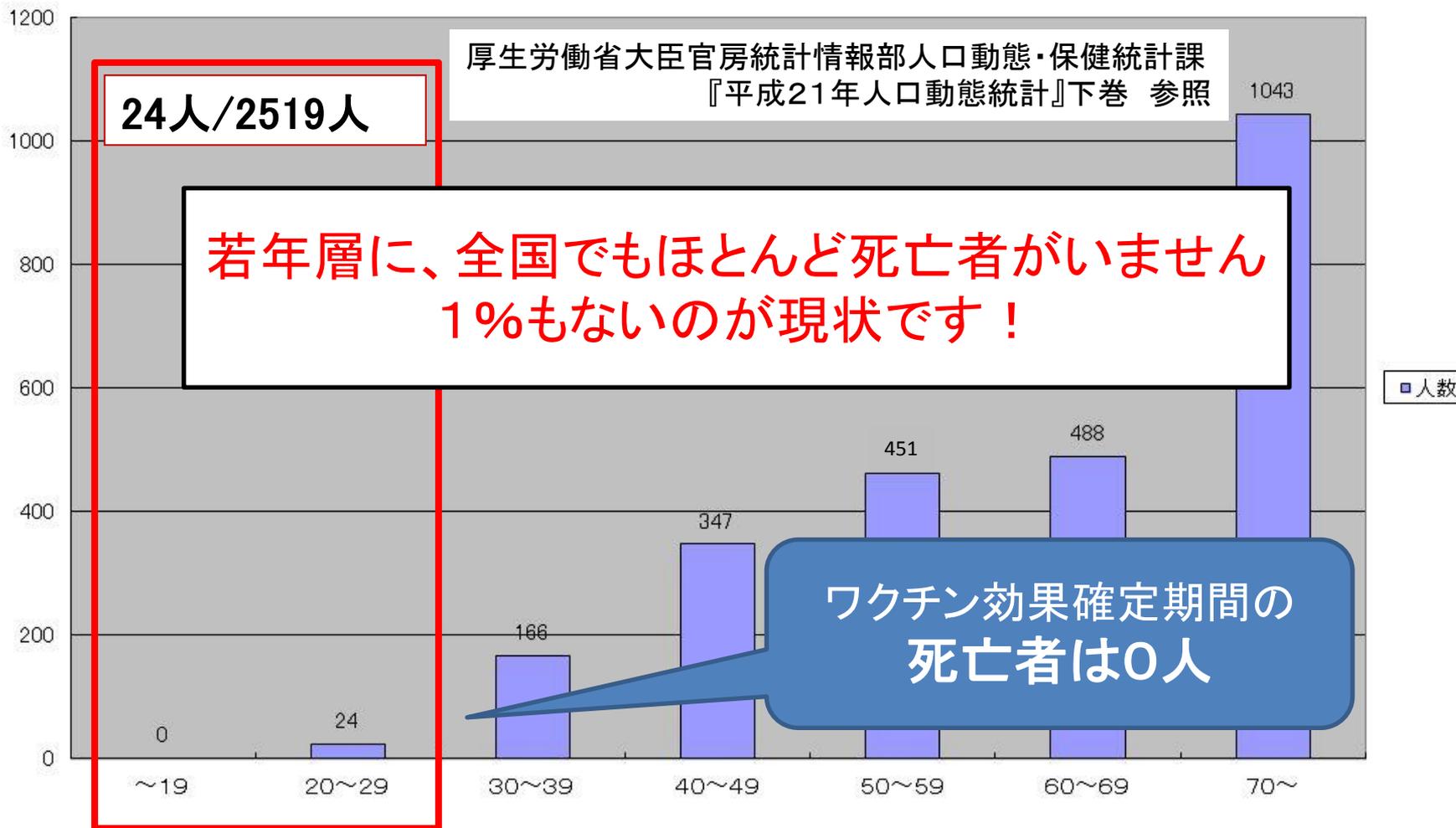
全国死亡者数
2519名

厚生労働省大臣官房統計情報部編

死因 \ 年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～
子宮頸の悪性新生物（人数）	0	24	166	347	451	488	1043

厚生労働省が2009年に実施した人口動態統計より数値を引用 年代別子宮頸がんによる死亡者数を図表化

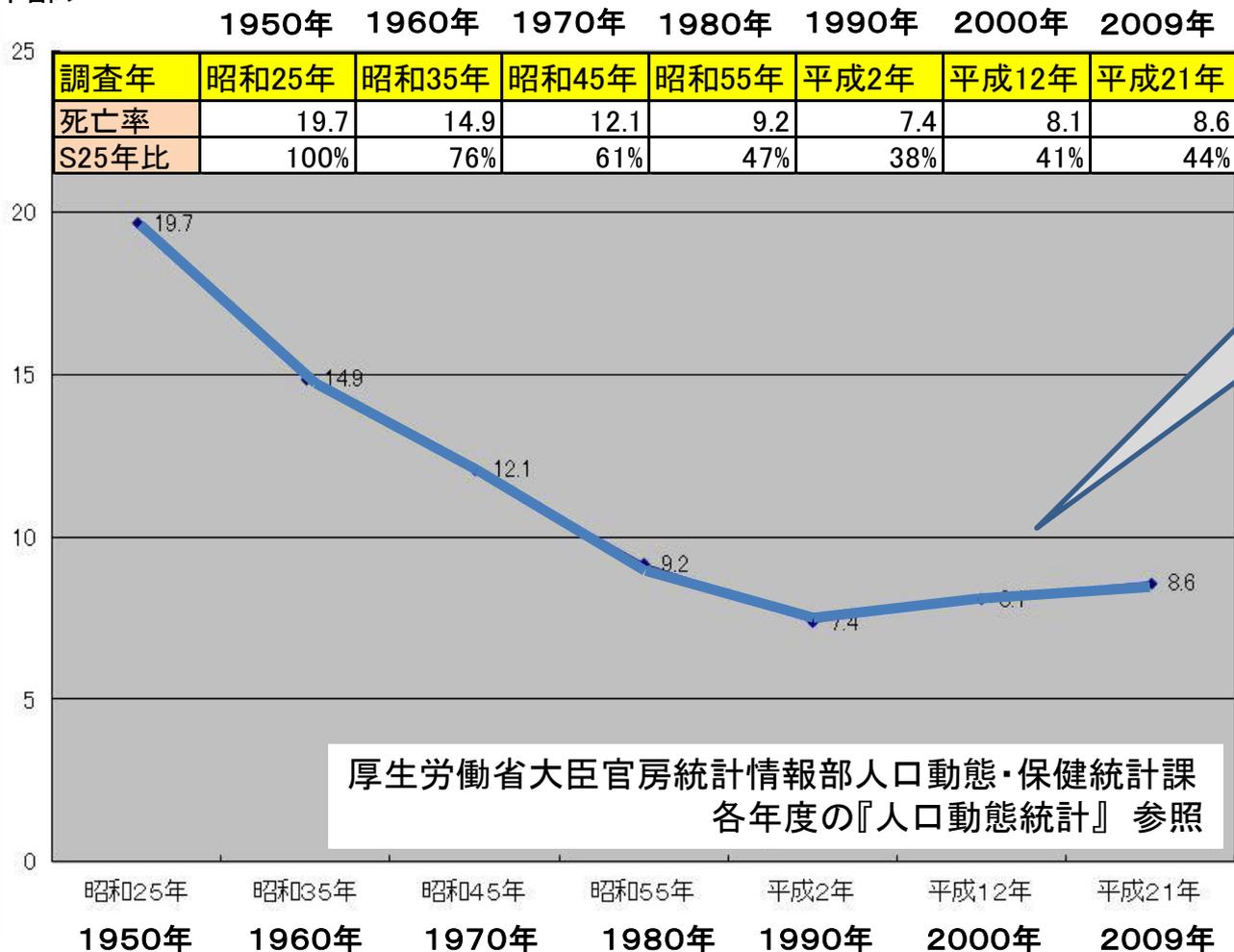
厚生労働省大臣官房統計情報部人口動態・保健統計課
『平成21年人口動態統計』下巻 参照



厚生労働省が例年実施している人口動態統計より数値を引用 子宮がんによる死亡者数を年代別に図表化

<年齢>

子宮の悪性新生物による年度別死亡者数



2009年、
死亡率は
半分以下と
なっている

<年>

・政府のリスク説明は十分なのか？

厚生労働省発行

2013年6月

リーフレット「子宮頸がん予防ワクチンの接種を受ける皆さまへ(平成25年6月版)」

子宮頸がん予防ワクチンの接種を受ける皆さまへ (平成25年6月版)

現在、子宮頸がん予防ワクチンの接種を積極的にはお勧めしていません。接種に当たっては、有効性とリスクを理解した上で受けてください。

子宮頸がん予防ワクチンの有効性とリスクについて、お知らせします。ワクチンの接種は、その有効性と接種による副作用(専門的には「副反応」といいます)が起こるリスクを十分に理解した上で受けるようにしてください。

子宮頸がんは、こんな病気

子宮頸がんは、乳がんに次いで、若い女性に2番目に多いがんです

子宮頸がんは、女性の子宮の入り口部分(子宮頸部)にできる「がん」です。若い女性(20~39歳)がかかる「がん」の中では乳がんに次いで多く、女性の100人に1人が生涯のいずれかの時点で、子宮頸がんにかかると言われていています。年間9,000人近くの方が子宮頸がんにかかり、2,700人の方が亡くなっています。

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス(HPV)というウイルスの感染が原因で起こるがんです

ヒトパピローマウイルス(HPV)には、100種類以上のタイプ(型)があり、そのうち、子宮頸がんの発生に関わるタイプは「高リスク型HPV」とよばれています。主に性行為によって感染します。海外では、性活動を行う女性の50%以上が、生涯に一度は感染すると見られ、感染しても多くは自然に排出されます。

子宮頸がんの約半分は、ワクチン接種によって予防できることが期待されています

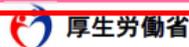
ワクチンには、ヒトパピローマウイルス(HPV)の成分が含まれているため、接種することで免疫を作ることができ、HPVの感染を防ぐことができます。子宮頸がん予防ワクチンの接種は法律に基づいて実施されていますが、受けるかどうかは、接種することで得られるメリットとリスクを理解した上で、ご判断ください。

子宮頸がん予防ワクチンの効果

子宮頸がん予防ワクチンは世界保健機関(WHO)が接種を推奨し、多くの先進国では公的接種とされています

子宮頸がん予防ワクチンは、子宮頸がん全体の50~70%の原因とされる2種類(16型・18型)のヒトパピローマウイルス(HPV)に予防効果があります。16型HPVと18型HPVの感染やがんになる過程の異常(異形成)を90%以上予防できたことと報告があり、これに引き続いて起こる子宮頸がんの予防効果が期待されています。

- 子宮頸がんは数十年前にわたって、接種前にHPVに感染した後に起こるとされています。
- 子宮頸がん予防ワクチンは新しいワクチンのため、子宮頸がんそのものを予防する効果はまだ証明されていません。



子宮頸がん予防ワクチンの接種についてのリスク

比較的軽度の副反応は、一定の頻度で起こることが知られています

ワクチン接種後に見られる主な副反応としては、発熱や接種した部位の痛み・腫れ、注射の痛み・恐怖・興奮などをきっかけとした失神があります。

発生頻度	ワクチン：サーバリックス	ワクチン：ガーダシル
50%以上	注射部の痛み・発赤・腫れ、疲労感	注射部の痛み
10~50%未満	痒み、腫痛、頭痛、関節痛、頭痛 など	注射部の腫れ、紅腫
1~10%未満	じんま疹、めまい、発熱 など	注射部の痒み・出血・不快感、頭痛、発熱
1%未満	注射部の知覚異常、しびれ感、全身の疲労	注射部の硬結、手足の痛み、筋肉のこわばり、腫痛・下痢
頻度不明	手足の痛み、失神、リンパ節の炎症 など	発熱・倦怠感、失神、頭痛、関節痛、嘔吐 など

まれに重い副反応もあります

副反応については、接種との因果関係を問わず、報告を集め、定期的に専門家による分析・評価を行っています。現在、因果関係は不明ながら、持続的な痛みを訴える重篤な副反応が報告されており、その発生頻度等について調査中です。なお、これまでに報告のあったその他の重い副反応については、以下のとおりです。

病気の名前	主な症状	報告頻度*
アナフィラキシー	呼吸困難、じんま疹などを症状とする重いアレルギー	約96万接種に1回
ギラン・バレー症候群	両手・足のかの入りにくさを症状とする末梢神経の病気	約430万接種に1回
急性散在性脳脊髄炎(ADEM)	頭痛、嘔吐、意識の低下などを症状とする脳などの神経の病気	約430万接種に1回

*平成25年6月までの接種回数に基づき、専門家による評価を待たずに算出しています。

※これらの報告には、ワクチン接種と関係がないと思われる報告も含まれます。

ワクチン接種後の注意

ワクチン接種後に体調の変化があった場合には、すぐに医師に相談してください

注射針を刺した直後から、強い痛みやしびれなどが生じた場合は、すぐに申し出てください。また、ワクチン接種後に、注射による痛みなどをきっかけとして失神することもありますので、接種後30分程度は、イスに座るなどして様子を見るようにしてください。予防接種当日は、激しい運動や入浴は避け、接種部位を清潔に保ち、体調管理をしっかり行ってください。

副反応により、医療機関での治療が必要になった場合には、お住まいの市区町村の予防接種担当課へご相談ください

副反応によって、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害が残るなどの健康被害が生じる場合には、法律に基づき救済が受けられます。

※救済を受けるには、健康被害が予防接種によって引き起こされたものが、別の要因によるものかを、専門家からなる調査会で審議し、認定される必要があります。

ワクチン接種をした方も20歳になったら子宮頸がん検診を受けることが大切です

子宮頸がん予防ワクチンは子宮頸がんの罹患となる全てのヒトパピローマウイルス(HPV)に予防効果がある訳ではありません。ワクチン接種をした方も、20歳になったら必ず2年に1度の子宮頸がん検診を受けましょう。定期的に検診を受ければ、がんになる過程の異常(異形成)やごく早期のがんの段階で発見できることが多く、経過観察や負担の少ない治療で済むことも多いのです。

厚生労働省ホームページで、子宮頸がん予防ワクチンに関する情報をご案内しています。
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou2/>

・政府のリスク説明は十分なのか？

厚生労働省発行

2013年6月

リーフレット「子宮頸がん予防ワクチンの接種を受ける皆さまへ(平成25年6月版)」

子宮頸がんの約半分は、ワクチン接種によって予防できることが期待されています

ワクチンには、ヒトパピローマウイルス（HPV）の成分が含まれているため、接種することで免疫を作ることができ、HPVの感染を防ぐことができます。子宮頸がん予防ワクチンの接種は法律に基づいて実施されていますが、受けるかどうかは、接種することで得られるメリットとリスクを理解した上で、ご判断ください。

子宮頸がんは、乳がんに次いで、若い女性に2番目に多いがんです
子宮頸がんは、女性の子宮の入り口部分（子宮頸部）にできる「がん」です。

反応については、以下のとおりです。

接種の名称	主な症状	報告頻度*
-------	------	-------

子宮頸がん予防ワクチンの効果

子宮頸がん予防ワクチンは世界保健機関（WHO）が推奨する世界で
多くの先進国では公的資金で接種されています。

子宮頸がん予防ワクチン（2価型・4価型）のヒトパピローマウイルス（HPV）16型HPVと18型HPVの感染を予防する効果に関する報告があり、これに引き続いて起こる

子宮頸がん予防ワクチンは新しいワクチンのため、「子宮頸がんそのものを予防する効果はまだ証明されていません。」

子宮頸がんそのものを予防する効果が期待されています。

- 子宮頸がんは数年～数十年にわたって、持続的にHPVに感染し、その後起こるとされています。
- 子宮頸がん予防ワクチンは新しいワクチンのため、子宮頸がんそのものを予防する効果はまだ証明されていません。

未回復と不明者

重篤症例一覧

(2014年9月1日から12月31日までの報告分)

製造販売業者からの報告

No	年齢(代)	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	基礎疾患等	副反応名	発生日	重篤度	転帰日	転帰内容
1	20	女	平成22年11月29日	サーバリックス			悪寒、紅斑、熱感、発熱、貧血	平成24年9月4日	重篤	平成24年9月5日	未回復
2	10	女	平成23年8月7日	サーバリックス	AHPVA138AC		関節炎、関節痛、発熱	平成23年12月	重篤		未回復
3		女	平成23年9月	サーバリックス			肺炎		重篤		不明
4	10	女	平成24年5月23日	サーバリックス	AHPVA162CA		マイコプラズマ性肺炎、関節炎、関節痛、発熱、歩行障害	平成24年6月28日	重篤	平成24年9月7日	不明
5	10	女	平成24年6月19日	サーバリックス	AHPVA162CA		視神経乳頭血管炎、視力低下	平成24年6月	重篤		不明
6	10	女	平成24年6月29日	サーバリックス	AHPVA162CA	食物アレルギー、乳アレルギー	感覚鈍麻、局所腫脹、筋力低下、注射による四肢の運動低下	平成24年6月29日	重篤		不明
7	10	女	平成24年7月4日	サーバリックス	AHPVA162CA	薬物過敏症、食物アレルギー	発声障害、喉頭浮腫	平成24年7月10日	重篤	平成24年7月16日	回復
8	10	女	平成24年8月	サーバリックス			紫斑、血小板数減少、出血	平成24年	重篤	平成24年12月7日	軽快
9	10	女	平成24年8月2日	サーバリックス	AHPVA162DA	血管腫	血管腫、疼痛	平成24年8月4日	重篤	平成24年8月7日	不明
10	10	女	平成24年8月7日	サーバリックス	AHPVA162DA		ショック、悪心、意識レベルの低下、意識消失、異常感、失神、転倒	平成24年8月7日	重篤	平成24年8月7日	不明
11	10	女	平成24年8月14日	サーバリックス	AHPVA162CA		意識レベルの低下、蒼白、注射部位疼痛、失神寸前の状態、冷汗	平成24年8月14日	重篤	平成24年8月14日	不明
12	10	女	平成24年8月27日	サーバリックス	AHPVA162DA		自殺企図、腹痛	平成24年9月4日	重篤	平成24年9月4日	不明
13	10	女	平成24年8月30日	サーバリックス	AHPVA162DA		ショック、チアノーゼ、意識消失、異物感、筋骨格痛、血圧低下、呼吸困難、蒼白、息詰まり感、頻呼吸、頻脈、嘔吐	平成24年8月30日	重篤	平成24年8月30日	不明
14	10	女	平成24年8月31日	サーバリックス			失神寸前の状態、浮動性めまい、疼痛	平成24年8月31日	重篤	平成24年8月31日	不明
15	10	女	平成24年8月31日	サーバリックス			意識消失、健忘、血圧低下、転倒	平成24年8月31日	重篤	平成24年8月31日	不明
16	10	女	平成24年9月5日	サーバリックス	AHPVA162DA		運動障害、筋肉痛、注射による四肢の運動低下、注射部位疼痛	平成24年9月5日	重篤	平成24年10月10日	回復
17	10	女	平成24年9月15日	サーバリックス			発熱、嘔吐、マイコプラズマ感染	平成24年9月18日	重篤		不明
18	10	女	平成24年9月27日	サーバリックス	AHPVA162DA		コリン作動性症候群、意識消失	平成24年9月27日	重篤	平成24年9月27日	不明
19	10	女	平成24年9月29日	サーバリックス	AHPVA162DA		異常感、筋肉痛、食欲減退(N)、蒼白、注射による四肢の運動低下、発熱、無力症	平成24年9月29日	重篤	平成24年10月5日	未回復
20	10	女	平成24年10月6日	サーバリックス	AHPVA162DA		血圧低下、蒼白、ショック	平成24年10月6日	重篤	平成24年10月6日	回復
21	10	女	平成24年10月11日	サーバリックス			脳症、歩行障害、倦怠感、筋力低下、ギラン・バレー症候群、単麻痺、運動障害	平成24年10月14日	重篤		不明
22	10	女	平成24年10月13日	サーバリックス	AHPVA162DA	異常感	挫傷、転倒	平成24年10月13日	重篤		不明
23	10	女	平成24年10月16日	サーバリックス	AHPVA162AA		失神、不整脈	平成24年10月16日	重篤	平成24年10月16日	不明
24	10	女	平成24年10月26日	サーバリックス	AHPVA164AA		意識消失、失神、転倒、蒼白	平成24年10月26日	重篤	平成24年10月26日	不明
25	10	女	平成24年10月29日	サーバリックス			悪心、嘔吐、頭痛、発熱、倦怠感、蒼白	平成24年10月29日	重篤	平成24年10月31日	回復
26	10	女	平成24年11月1日	サーバリックス	AHPVA162DA		蕁麻疹、呼吸困難、過敏症、顔面腫脹、全身性エリテマトーデス	平成24年11月3日	重篤		未回復
27		女		サーバリックス			心停止		重篤		不明
28	不明	女		サーバリックス			不正子宮出血		重篤		回復
29		女		サーバリックス			関節周囲炎、関節痛、注射による四肢の運動低下		重篤		不明
30		女		サーバリックス			関節周囲炎、関節痛、注射による四肢の運動低下	平成24年1月	重篤		未回復

※同時接種ワクチンとして記載のある報告についても、接種部位の局所反応等関連が否定されないものを除き集計している。

(MedDRA/J Version(15.1))

重篤症例一覧

(2014年9月1日から12月31日までの報告分)

製造販売業者からの報告

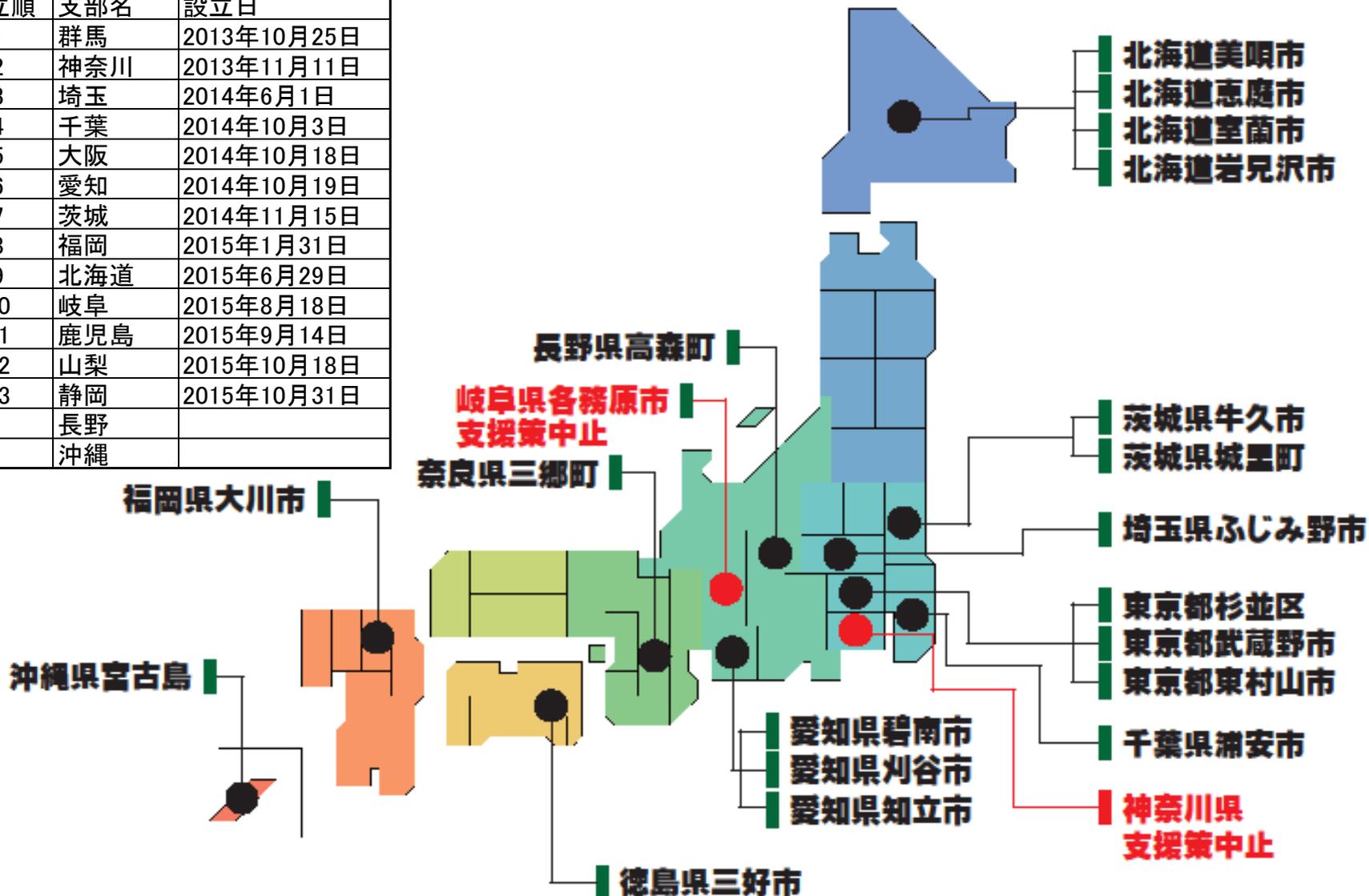
No	年齢(代)	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	基礎疾患等	副反応名	発生日	重篤度	転帰日	転帰内容	
1	20	女	平成22年11月29日	サーバリックス			悪寒、紅斑、熱感、発熱、貧血	平成24年9月4日	重篤	平成24年9月5日	未回復	
2	10	女	平成23年8月7日	サーバリックス	AHPVA138AC		関節炎、関節痛、発熱	平成23年12月	重篤		未回復	
3		女	平成23年9月	サーバリックス			肺炎		重篤		不明	
4	10	女	平成24年5月23日	サーバリックス	AHPVA162CA		マイコプラズマ性肺炎、関節炎、関節痛、発熱、歩行障害	平成24年6月28日	重篤	平成24年9月7日	不明	
5	10	女	平成24年6月19日	サーバリックス	AHPVA162CA		視神経乳頭血管炎、視力低下	平成24年6月	重篤		不明	
6	10	女	平成24年6月29日	サーバリックス	AHPVA162CA	食物アレルギー、乳アレルギー	感覚鈍麻、局所腫脹、筋力低下、注射による四肢の運動低下	平成24年6月29日	重篤		不明	
7	10	女	平成24年7月4日	サーバリックス	AHPVA162CA	薬物過敏症、食物アレルギー	発声障害、喉頭浮腫	平成24年7月10日	重篤	平成24年7月16日	回復	
8	10	女	平成24年8月	サーバリックス			紫斑、血小板数減少、出血	平成24年	重篤	平成24年12月7日	軽快	
9	10	女	平成24年8月2日	サーバリックス	AHPVA162DA	血管腫	血管腫、疼痛	平成24年8月4日	重篤	平成24年8月7日	不明	
10	10	女	自殺企図、腹痛(激痛)、ギラン・バレー症候群、会話障害									不明
11	10	女										不明
12	10	女	平成24年8月27日	サーバリックス	AHPVA162DA		自殺企図、腹痛、ショック、チアノーゼ、意識消失、異物感、	平成24年8月4日	重篤	平成24年8月4日	不明	
13	10	女	脳症、歩行障害、倦怠感、筋力低下、単麻痺、運動障害									不明
14	10	女										不明
15	10	女	全身エリテマトーデス、全頭脱毛症									不明
16	10	女										平成24年8月16日
17	10	女	平成24年9月15日	サーバリックス			発熱、嘔吐、マイコプラズマ感染	平成24年9月18日	重篤		不明	
18	10	女	心停止視力障害、視力低下、若年性関節炎									不明
19	10	女										平成24年10月14日
20	10	女	不正出血、不正子宮出血、てんかん									不明
21	10	女										平成24年10月14日
22	10	女	不正出血、不正子宮出血、てんかん									不明
23	10	女										平成24年10月29日
24	10	女	不正出血、不正子宮出血、てんかん									不明
25	10	女										平成24年10月29日
26	10	女	不正出血、不正子宮出血、てんかん									不明
27		女										平成24年10月29日
28	不明	女	不正出血、不正子宮出血、てんかん									不明
29		女										平成24年10月29日
30		女		サーバリックス			関節周囲炎、関節痛、注射による四肢の運動低下	平成24年1月	重篤		未回復	

※同時接種ワクチンとして記載のある報告についても、接種部位の局所反応等関連が否定されないものを除き集計している。

(MedDRA/J Version(15.1))

子宮頸がんワクチン問題、広がる自治体の独自支援

設立順	支部名	設立日
1	群馬	2013年10月25日
2	神奈川	2013年11月11日
3	埼玉	2014年6月1日
4	千葉	2014年10月3日
5	大阪	2014年10月18日
6	愛知	2014年10月19日
7	茨城	2014年11月15日
8	福岡	2015年1月31日
9	北海道	2015年6月29日
10	岐阜	2015年8月18日
11	鹿児島	2015年9月14日
12	山梨	2015年10月18日
13	静岡	2015年10月31日
	長野	
	沖縄	



子宮頸がんワクチン
学校生活の相談窓口 設置へ



Q: 2013年3月に「全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会」が発足してから2年半が経ちました。

池田: この間、被害者は増え続けて、相談や会員登録のペースも上がっています。これまで相談件数は2000件を超え、登録者数は460人以上になりました。被害者は47都道府県にいて、そのうち13都道府県では正式に支部が発足しています。まだ正式に支部が発足していないものの、組織として機能しているところを合わせると、17都道府県になります。わずか2年半でこれだけ規模が大きくなりその勢いが止まらないことは、大変残念ですが、HPVワクチンの被害の大きさを物語っていると思います。

Q: この2年半の国の対応はどう評価していますか。

池田: HPVワクチンの被害は世界中で報告されています。しかし、どこの国でも「WHOのお墨付きがあるから」という理由で、被害者の声に耳を傾けてくれることはほとんどないようです。

しかし日本は、時間はかかりましたが国が被害者の声に耳を傾け、HPVワクチンの積極的な接種勧奨を一時的に中止し、実態調査に着手しています。今年の夏には、私たちの提案で厚労省の担当者の方々に数多くの被害家族の実態を見てもらいました。被害者本人や家族の苦しみを知ってほしかったからです。このような取り組みが大きな牽引力となって、厚労省と文科省の協力を得て、47都道府県の保健衛生部局と教育部局に相談窓口を設置し、11月2日には地方自治体向けの説明会を実施しています。厚労省の健康課長は「8～9月に手分けして全国を回り、直接被害者の高校生や保護者らの話を聞いた。訴えをきちんと聞くことの大切さや窓口設置の必要性を痛感した」とその冒頭で挨拶しています。またPMDA(医薬品医療機器総合機構)は、定期接種と任意接種の補償格差を是正して定期接種並みのものとし、ストップしていた救済申請を加速させるなど、被害者の救済に着手しはじめました。

全ての対応が満足できるとはいえませんが、被害の実態に心を寄せるといふ姿勢は見られます。数多くの薬害問題を経て、危機管理が働き始めた証左ではないかと思えます。

とはいえ、接種後長い時間を経て待たないというご家族が多いのも事実です。「死に物狂いで学校に通っているが、娘はあと数日で退学になってしまいますとか、治療費にお金が掛かりすぎてもう生活保護を申請するしか手段がありません」といった連絡が入ることも少なくありません。

Q: マスコミや製薬会社の対応はいかがでしょう。

池田: HPVが登場したときのマスコミの状況は推進一本槍という印象でしたが、現在は副反応などのリスクを伝える役割も果たしていると思います。

一方、製薬会社であるグラクソ・スミスクライン社とメルク社は被害者の訴えに全く耳を貸そうとはしていません。自動車会社はトラブルが発覚したらリコールを実施して、社長が公聴会に召喚されて涙ながらに謝罪するではありませんか。薬が売れさえすれば、あとはどうなるうが関係ないというような態度は、あまりにも無責任かつ傲慢です。被害者の方々は憤りを感じています。これまでにグラクソとメルクには要望書を提出しましたが、被害者が納得するような回答は皆無です。大変残念です。